
もろ色違いのニョロモ達の冒険！ season 2

台風X号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もろ色違いのニョロモ達の冒険！season2

【コード】

N0516S

【作者名】

台風X号

【あらすじ】

season2がやってきました。全16回。

ついに明らかになる邪悪な存在。

第十五話 エンテイの辛さ(前書き)

新たな危機が迫ろうとしていた。

第十五話 エンテイの辛さ

ハッサム達は逃げて行った。

「助かったよ。ありがとう。」

ニヨロモフォーズは、4匹のニヨロモに分裂した。

エンテイは、体に邪心のポケモンを帯びていた。

「今助ける。ハイドロポンプ！」

「来るな！」

鎖型のポケモンが姿を現した。

突然変異ポケモン ニヴオーダ はがねタイプ 特性鋼鉄

エンテイは、彼に捕まっていたのであった。

「エンテイを放せ！」

「誰が放すものか！ロイヤルチェーン！」

ロイヤルチェーン 威力60 命中ほぼ100 タイプはがね

ニヨロモ達に攻撃が当たった。

「俺達の攻撃が。」

「サラマンダー！」

サラマンダー 威力55 命中100 タイプほのお

サラマンダーを使ったエンテイは、赤ニョロモとニョロトリオに話した。

「俺と一つになってくれ！」

「レインボーニョロモ！」

「合体欲善！」

エンテイと赤ニョロモとニョロトリオが合体した。

「エンダブル・リード！」

エンダブル・リード 合体ポケモン ほのお/かくとうタイプ

「ファイアーテクニカルボンバー！」

ファイアーテクニカルボンバー 威力130 命中75 タイプほのお

ニヴォーダは、攻撃を食らった。

「はがねタイプなら、炎が弱点だぜってあれ？」

ニヴォーダは倒せなかった。

「残念でした。クロスチェーンアタック!」

クロスチェーンアタック 威力80 命中100 タイプはがね

エンタブル・リードは、攻撃を受けた。

「くっ・・・」

ギギギアルとレアコイルは、レインボーニョロモに頼んだ。

「俺達をエンタブル・リードに合体させてくれ!」

「わかった。合体欲善!」

エンタブル・リードとレアコイルとギギギアルは合体した。

「エンタブル・リードFE!」

エンタブル・リードFE 合体ポケモン ほのお/かくとう/はがねタイプ

「なに、更に合体しただと!ふざけやがって、クロスチェーンアタック!」

エンタブル・リードFEは瞬時に攻撃を避けた。

「俺達の絆のスピードは、貴様の攻撃なんて朝めし前なんだよ!ダイクブレイク!」

ダークブレイク 威力300 命中100 タイプはがねと
かくとうとほのお

ダークブレイクが、ニヴオーダに命中した。

第十五話 エンテイの辛さ（後書き）

次回 第十六話 対立している町。お楽しみに！

第十六話 対立している町

ダークブレイクがニヴォーダに命中した。

アーボとクサリオスに分離した。

「2体のポケモンが何で合体していたんだろ？」

「レインボーニヨロモ、心当たりある？」

レインボーニヨロモは考えた。

「心当たりあります。私は、敵軍に拘束されていました。うまく逃げたのですが、私のDNAを悪用しているらしいですね。彼らはポケモンを強制合体できるようになった可能性があります。」

レインボーニヨロモは、敵軍にとらわれたショック度が強かったらしい。

「DNAを利用するなんて許さねえ！」

赤色のニヨロモはそういった。

ニヨロモ達は、二つの町を見つけた。

ニヨロモたちは、二手に分かれて行動をとることにした。

「そこは、任せたぞ。」

「ああ、任せた。」

レインボーニヨロモは、二つの町一つに行った。

しかし、50万の数でやってきた敵軍の存在が今後の展開に変動を呼ぶ。

レインボーニヨロモ達は、一つの町を注目していた。

「この町は邪悪なおいがする。」

ギギギアル達がいる場所は穏やかな川が流れていた。

レアコイルは、嫌な予感をしていた。

ルール無用のポケモンが一体いたからである。

名前は、ヨワホベというポケモンであった。

「来たか、敵め。」

第十六話 対立している町（後書き）

次回 第十七話 この町の過ち。お楽しみに

第十七話 この町の過ち

「来たか、敵め。」

ヨワホベは、敵軍を呼び寄せた。

「なにっ！あれだけの数を。」

「この町の者はみんな俺の配下となっている。」

ニヨロモは、水鉄砲をするも謎の結界が張ってあった。

「結界に包まれているのか。」

エンテイと赤ニヨロモが炎系の攻撃をするも結界は効かない。

「駄目か。」

「この結界にお前達の攻撃が通用するか！」

「レインボースピードキャノン！」

結界が勢いよく破壊された。

「レインボーニヨロモか、忘れていたぞ。お前をな。」

ヨワホベは、謎の装置を持っていた。「五十万体のポケモンよ、俺と合体しろ！」

ヨワホベは、合体してキングヨワホベになった。

「でか過ぎるだろこれっ！」

「レインボーニョロモ！」

「承知した。合体欲善！」

ニョロモと黄色ニョロモと赤ニョロモと錨ニョロモとレアコイルとエンテイが合体した。

「ヴィーア・ゼネクリスト！」

ヴィーア・ゼネクリスト 合体ポケモン

「合体したところで俺の敵ではない。くたばれ！」

キングヨワホベは、ヴィーア・ゼネクリストを踏みつぶそうとしたが軽々とよけられてしまった。

「でかくなったから、動きが鈍くなったな。それでも食らえレジエンドデーパーインパクト！」

キングヨワホベはヨワホベに戻り五十万体のポケモン達は住处に帰って行った。

第十七話 この町の過ち（後書き）

次回 第十八話 謎の敵現る！ダークニヨロモの野心。お楽しみに！

第十八話 謎の敵現る！ダークニョロモの野心

ヨワホベは、ニョロモ達を見て退散していった。

「君達は、我々を助けてくれたヒーローです。」

リザードがニョロモ達に言った。

ニョロモ達は、町でしばらく暇をした後、次の場所へと向かって行った。

次の場所に向かう途中、敵軍に襲われた。

「ぬわああああ！」

「あれは、ダークニョロモ。」

「貴様等の行動をバカバカしく見させてもらった。」

「なんだと！」

「待て、錨ニョロモ。ダークニョロモは何かを企んでいる。」

「鋭い勘だニョロモ。見るがいい新たな合体ポケモン集団だ。」

カオスー、ピカチュウとニョロモが合体した姿。オメガモンに似た姿をしている。攻撃力と素早さが高いが防御力には欠けている。

ディグザイア、レックウザとアンノーンが合体した姿。合体ポケモ

ンの中で防御力が高い。

ヒトーエヴ、ヒトデマンとアーマルドが合体した姿。装甲化しており攻撃力も高い。

此の3体の合体ポケモンにどう立ち向かうのか。

第十八話 謎の敵現る！ダークニヨロモの野心（後書き）

次回 第十九話 ダークニヨロモの刺客を退かせる！行けレインボ
ーニヨロモバーストキング！お楽しみに！

第十九話 ダークニョロモの刺客を退かせる！行けレインボーニョロモバースト

早速カオスーが攻撃を仕掛けてきた。

「ピカチュウソード！」

ニョロモ達は、うまくよけた。

「赤ニョロモ、頼むぜ。」

「分かった。火焰の変！」

ヒトーエヴは、赤ニョロモの攻撃を軽く受け止めてしまった。

「何だと！」

レインボーニョロモが次の一手を加えた。

「虹色の陣、追想蓮宋可！」

アイアンテールと10万ボルトとかえんほうしゃを合体させた攻撃技である。

ディグザイアにその攻撃を受け止められるも・・・

「合体欲善！」

ニョロモと锚ニョロモとレインボーニョロモが合体した。

「レインボーニョロモバーストキング！」

「バーストキングだと、カオスー、ニョロモキャノン！」

「ニョロモキャノン！」

「スペリオルかえんほうしゃ！」

カオスーは攻撃を受けた。

ニョロモとピカチュウに戻った。

ダークニョロモは、イライラしていた。

第十九話 ダークニヨロモの刺客を退かせる！行けレインボーニヨロモバースト

次回 第二十話ダークニヨロモの陰謀、恐怖の合体。お楽しみに！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0516s/>

もろ色違いのニヨロモ達の冒険！ season 2

2011年10月10日03時30分発行